

編集・発行 千葉県体験活動ボランティア活動支援センター <https://www.skplaza.pref.chiba.lg.jp/volunteer/>
〒277-0882 千葉県柏市柏の葉 4-3-1 千葉県生涯学習センター・芸術文化センターさわやかちば県民プラザ内
受付：毎週火曜日・木曜日・土曜日 午前9時から午後5時（年末年始、さわやかちば県民プラザ休所日は除く）
TEL・FAX 04-7135-2200 メール：vc_chiba@pref.chiba.lg.jp
体験活動やボランティア活動の支援、相談、情報の収集・発信、講座の開催を行っています。

千葉県体験活動ボランティア活動支援センターでは、体験活動やボランティア活動をしてみたいという方に対して、情報提供や支援を行っています。

その他、電話やメールによる相談、ホームページでの情報発信も行っています。支援センターブログでは、今伝えたいこと、旬の話題に関する情報を発信しておりますので、是非、ご覧ください。

「高校生たちが企画運営する小学生対象のあそび場づくり」プレ体験 12月18日(土)スタート！

今回は、地域の様々なつながりを大切に、当所の近隣に位置する、流山おおたかの森高等学校JRC部と、柏市西原中学校区学校運営協議会の協力を得て、スタートしました。流山おおたかの森高等学校は、さわやかちば県民プラザ主催事業「高校生のためのボランティア体験講座」への受講生も多い高校で、高校生たちがボランティア活動に進んで取り組んでいます。

高校生は企画・運営する側としてのボランティア活動を行い、小学生は体験活動の場として、高校生たちが企画する「あそび場」に参加します。あるものを生かして遊ぶ、高校生たちの創意工夫で、関わる者同士が刺激を受け、異年代での交流を深めていけたらと思います。

ボランティアは、与えられた活動を行うだけでなく「開拓する」「創造する」ことに醍醐味があります。

大人は、子どもたちが様々な体験に自らチャレンジできるよう、時には意思をもって見守りに徹するなど、その機会や場を準備することが大切だと思うのです。文部科学省では「体験活動特設ページ」（たっぷり体験）を開設しています。体験の機会をつくり、社会全体で子どもたちの成長を支えていきましょう。

地域の子どもは地域の希望、
地域と学校の協働で
子どもの潜在能力を
最大限に引き出そう

令和3年度 教育支援実践研究交流会

◎基調講演 子どもの育ちを支える 地域と学校の協働
～子どもに手渡す「3つの力」～

講師：長谷川 幸介 氏（茨城県生涯学習・社会教育研究会会長）

◎事例発表3団体

①多古町 多古高等学校学校運営協議会

※令和2年度「地域学校協働活動推進に係る文部科学大臣表彰受賞

②酒々井町 NPO法人B-Net子どもセンター

③柏市 総合型地域スポーツクラブ「柏の葉まちのサッカークラブ」

◎参加者同士の情報交換会（グループワーク） 16時00分～

◎交流会（事例発表者との情報交換会）※希望者のみ 16時25分～

日時：令和4年2月26日(土) 12時20分から受付 13時00分～16時50分

場所：さわやかちば県民プラザ

形式：対面及びオンライン(zoom)

募集人数：対面50人、オンライン150人

申込締切：令和4年2月14日(月)

対象：教育支援活動に関わっている方や興味のある方

子どもの教育に関わる活動を行っているNPO関係者、社会教育関係団体関係者、教育委員会職員及び学校関係者、地域での教育支援に関心がある方、地域学校協働活動推進員等、地域において子どもの体験活動等の支援を行っている団体関係者 など

令和3年度体験活動及びボランティア情報

ボランティア体験参加者募集<第3期受付中>

はじめの一步！あなたも地域の輪に参加してみませんか？今年のボランティア体験は、コロナ禍のため、通年で実施しています。学生さんや、テレワークにより、地域に目を向ける機会が多くなった方など…いかがでしょうか？

日時 1/5（水）～3/31（木）

対象 学生から一般

場所 印西市市民活動支援センター

URL <https://inzai-cac.org>

問合せ 印西市市民活動支援センター
Tel:0476-48-4500

昔の暮らし展

昔なつかしい民族資料を中心に、「住まう」「食べる」「着る」「働く」「遊ぶ」の五つのテーマに沿って、昭和の頃の暮らしを紹介します。

期 日 1/18（火）～4/17（日）（休館は月曜日。月曜日が祝日にあたる場合は開館し、翌日休館）

時 間 午前9時～午後4時30分

場 所 千葉県立関宿城博物館 3階多目的室

入場料 一般200円、高校生100円
中学生以下・65歳以上無料

URL <http://www2.chiba-muse.or.jp/SEKIYADO/>

問合せ 千葉県立関宿城博物館 Tel:04-7196-1400

ゴミ出しボランティア活動

ゴミ出しに困っている人のゴミを、地域の方が代わってゴミ集積所まで運ぶお手伝いをするボランティア活動です。朝、収集前のお宅へ伺い、当日ゴミ袋を集積所まで持って行く活動になります。この活動は、地域高齢者の見守り活動も兼ねています。

※ゴミ出しに限らず、地域の様々な活動に関わっていただける人を募集しています。まずはお気軽に下記へお問い合わせください。

問合せ 長生村社会福祉協議会 Tel:0475-32-3391

（担当：生活支援コーディネーター 高仲・山本・今岡）

水辺の鳥の観察

水辺にはどんな鳥がいるか観察に行きましょう。

※雨天中止 定員20名

日時 2/20（日）午前8時半～正午

場所 堰や夷隅川河口周辺 ※集合場所はセンター

持ち物 寒くない服装、里山を歩く靴、観察道具（あれば）

問合せ 千葉県いすみ環境と文化のさとセンター

Tel:0470-86-5251

<http://www.isumi-sato.com>

E-mail:senta-sato@isumi-sato.com

プレーパーク 千葉市子どもたちの森公園

自然とふれ合いながら、だれでも自由に遊べる「プレーパーク」です。禁止事項を極力なくし、子どもたちが「自分の責任で自由に遊ぶ」ことをモットーに、工具や自然の素材を使って自分のやりたいことにチャレンジできる遊び場として開催。

場 所：千葉市若葉区源町 541-4（千葉市動物公園北側）

開園日：日、月、火、金、土

開園時間：午前10時～午後5時 入園無料

休園日：毎週水・木（水・木が祝日の場合も同様）

（年末年始・お盆・他臨時休園日あり）

※休園日に公園を利用することは可能ですが、プレーパークの遊びはできません。

※駐車場はございません。隣接する千葉市動物公園をご利用ください。

問合せ 千葉市子どもたちの森公園

Tel：(043)254-2328

Web：<http://pew.or.jp>

ボランティア活動とSDGs

持続可能な開発目標（SDGs）は、今、私たちの世界が直面している様々な問題を解決するために国際連合で定められました。貧困を終わらせ、すべての人が平等な機会を与えられ、地球環境を壊さずに、より良い生活を送ることができる世界を2030年まで達成するよう目指しています。

一人一人が考え、できることをしていきましょう。一人の力は小さくても、世界中の多くの人々が力を合わせれば、とても大きな力になります。

日本人のボランティア感は、諸外国のそれと違って、狭く考えがちな気がします。ボランティアとは、「生活の一部としての何気ない行為が、他人や社会のためになる」という感覚でいいと思います。

例えば、「歯を磨くときに水を止める」という行動は、水の節約になりますね。これが日本の水不足解消に貢献するというボランティアにもなり、SDGsの達成に貢献しているのです。

◎水の節約でちょいボラ

◎風呂敷エコバックを持ってちょいボラ

◎食べ残しをなくし、地産地消でちょいボラ

◎笑顔であいさつをしてちょいボラ

◎捨てずに集めてちょいボラ（収集ボランティア）

・使用済みハブラシ（軽く洗って乾かしたもの）

・ベルマーク

・使用済み切手（5mm～1cm程残して切り取る）

・コンタクトの空ケース

回収ボックスは、さわやかちば県民プラザの総合受付裏側にある当センターに設置しています。

みなさまのご協力をお願いいたします。

「ちば活動ポートフォリオ」配付中！ 体験活動・ボランティア活動の足あとを記録するノート！

自身の活動を記録できるノートです。活動の様子や活動を通して考えたこと、感じたことなどを記録しふりかえることで、変化や成長を実感できるツールとなっています。ご興味のある方は、千葉県体験活動ボランティア活動支援センターまでご連絡ください。

当センターホームページからダウンロードできます。

TEL・FAX：04-7135-2200

E-mail：vc_chiba@pref.chiba.lg.jp



